

人々の健康を守る医薬品や健康食品をいつも皆さまのわきに

ワキ製薬株式会社 奈良県大和高田市

■ミミズ酵素で人々の健康を守る

1882年に医薬品販売業として創業したワキ製薬株式会社は、現在も医薬品や健康食品といった人々の健康のために役立つ製品の製造・販売を行っている。

同社の特長は、ルンブルキナーゼというミミズから抽出されるタンパク質分解酵素（ミミズ酵素）に関する研究力や知識量であり、この酵素を使用した健康食品等の提供によって、人々の健康を守っている。

■社内改革で窮地を乗り越えて

現社長の脇本真之介氏が専務を務めていた頃、同社が保有していたミミズ酵素関連の特許が切れた。売上の8割を占めていた総合販売代理店との関係悪化等も影響し、仕入先と総合販売代理店が離反。仕入先と売上の8割を失い、不安に感じた社員たちも約3割が退職し、会社は窮地を迎えた。

この窮地に際して、同氏は最終的な責任を自身で負うため社長に就任し、抜本的な社内改革を進めた。所有する不動産の売却等を含め様々な資金繰り改善施策を実施し、資金面以外でも京都大学に通いつめ、酵素学の教授を迎え入れるなど、業務体制も全て見直し、新たなスタートを切った。

こうした社内改革を経て、同社業績は回復し始めた。従業員に今まで以上に利益を追求してもらい、生み出した利益を原資に給与やボーナスを増加させることで社員のモチベーション向上を図り、より高い目標に向け邁進するという循環を生みだそうとし、それこそが社員の幸せや満足度につながると信じ突き進んだ。

しかし、従業員全員に社長の取り組みに対する評価についてアンケートを実施したところ、10点中1.5点という低評価となった。今までの取り組みが従業員満足度につながっていなかったと振り返り、これからは「人を大事にする」ことを最も大切にしようと意識を変えた。

■「人を大事にする」ことの徹底

現在、同社では会社の理念や歴史、社長の思い等を綴ったフィロソフィブックを発刊し、意識共有を図り、従業員にとっても顧客にとってもおもしろい会社であるために、充実した広報誌を定期的に作成している。



広報誌

また、従業員の家族（子供たち）を職場に招待し、仕事を見てもらう業務参観日ともいえる日をつくったほ

か、BBQや花火大会を実施するなど、従業員だけでなく家族の満足度も高まる



子供たちの笑顔溢れる業務参観

取り組みを行うことで、「人を大事にする」姿勢を示し続けている。

「創業から140年以上が経ち、150年に向け歩みを止めないためにも、これまで会社を築いてきた先人たちへの感謝を忘れずに、会社の発展に貢献していきたい。そのために、従業員の幸せをつくることで、その先にいる顧客にも健康や幸せを届けたい」と話す脇本社長の言葉には、熱い思いが込められていた。

（藤岡奨太）

ワキ製薬株式会社

〒635-0082
奈良県大和高田市本郷町 9-17
TEL：0745-54-0999
FAX：0745-23-0133
URL：<https://www.a-kusuri.co.jp/>



脇本 社長